

(事業計画書様式1)

1 施設概要

文化・自然体験施設名	茅ヶ崎公園自然生態園
所在地	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 1-4
公園面積、公園種別	94,828 m ² (うち指定管理区域: 約 30,000 m ²)、地区公園
主な施設	里山林、緩衝林、草地、谷戸田、池、谷戸の水場・水路
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む人たちが水と緑の豊かなふるさとの自然景観に親しみ、自然の尊さを学ぶことができる環境である。 ・横浜の内陸部にいて生きものの宝庫といわれる谷戸の源流部の生態系が残されている。
公園開園日	1995(H7)年 3 月 24 日

2 指定管理者概要

指定管理者名	特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会
代表者名	岸 重行
所在地	〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 1-4
指定管理期間	2022(R4)年 4 月 1 日~2027(R9)年 3 月 31 日
現指定管理者管理運営開始日	2008(H20)年 4 月 1 日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制 (事業計画書様式2) の報告

□自然の再生

古来続いてきた貴重な里山自然を維持し、様々な領域における再生可能性が低下させないことを念頭に、調査と保全作業を行った。ゾーンごとの植物調査を基に、保全作業を計画し、日照改善による植生維持・再生を主目的に実施した。手作業主体に鎌と鋸等を使用した。事前に保護樹木・野草に目印をつけ、作業時に保護を図った。作業はボランティアの方々とは月4回、ササ・低木刈り、スギナ除去、竹の間伐等を実施。加えて、スタッフは園路や保護植物周辺の草刈等を随時行った。また、数年手付かずの繁茂著しい斜面のササ刈りを造園業者に依頼した。

植物調査を継続した。トレイルカメラ撮影ではタヌキ、アライグマ、ハクビシンを確認している。来園者参加の「鳥ノート」を設置し、鳥の観察記録を行った。

成果として、キンラン、ヤマユリ、アケビ等が増加、キジムシロ等保護植物の生育改善、景観改善等を参加者の方々と共に喜ぶことができた。

一方、ナラ枯れや樹齢の高い木々の枯死や、人手不足等による作業放置エリアの拡大は危険回避と植生保全の観点においても課題である。危険木については横浜市に依頼し、冬季に伐採していただいた。また近年、カブトムシはじめとした昆虫類、コゲラ等の一部鳥類、アズマヒキガエル等の減少が観察される。気候変動によると考えられる植物開花時期等の変化も大きい。

水辺では御手洗池保全事業を受託(横浜市)し、外来種駆除と調査を継続実施した。外来種のカ

ワリヌマエビとアメリカザリガニが定着しながら、在来淡水魚類の生息状況は良好である。3年に1度のかいぼり事業(同委託)では70人超の参加者と泥浚いを行い、底質の改善を図った。

□自然環境教育事業

地域の方々に向けて自然や生きものの多様性にふれ学んでいただける観察会や自然の恵みを体感し楽しむ催しを実施した。専門の講師やスタッフと共に、植物、昆虫、クモ、両生は虫類等を観察し、身近な自然・生きものの面白さ、大切さを感じていただけるように行った。

またネイチャーゲーム、焚き火、竹工作、草木染め、草団子づくり等を実施。里山自然を材料に遊ぶ、作る、味わう等の体験に、幼児からおとなまで楽しく参加できるように企画・実施した。

□米作り

親子参加者と共に年間14回の作業を行った。深い泥田での大変な作業であるが、各回、子どもたちは楽しみ、親ごさんも学び、米作りへの関心を深めた様子。稲藁でしめ縄を作ったり、納豆作りをする機会(自宅にて)も得た。感染症の影響を考慮し、餅つきは行わず、収穫したお米を分配した。

□適切な施設管理

維持管理水準書を基に日常点検、定期点検を実施した。木柵、畦の橋板等の劣化箇所は施設整備、保全管理を担うスタッフを中心に、速やかに修繕を施した。大がかりな不具合や劣化(木製橋の土台部分腐食や、トイレ水洗不具合)は横浜市に報告し修繕を依頼した。

□身近な自然の普及啓発と地域の里山文化の伝承

自然や生きものの魅力を伝え、自然保全への関心を引く糸口となるように、生物飼育や写真展示、植物名札の設置と更新、園路掲示の自然クイズ、ホームページ、インスタグラム、ブログ、冊子類頒布等、様々な形で情報を発信した。

地域の方々からの聞き取りを基に、昔の道を歩く観察会を実施した。

□管理運営体制

事務局体制について話し合いを重ね、事務局長候補者を得ることができた。高齢化によるスタッフ交代も生じつつある。今後に向けて引継ぎを検討した。また、ボランティアから支援スタッフとして共に働く方1名を得た。

「就業規則」及び「ハラスメント対策規定」について社会保険労務士に協力いただき、見直しと作成を進めた。定年、服務等について整備することができた。次年度発行予定。

活動全般における「安全と無事故を徹底するため、緊急時対応、作業事故対応、ヒヤリハット事例について、スタッフ間で共有し、研修を行った。実作業においては毎回、安全のための注意喚起と諸注意を行った。

2 利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告

1 利用者サービスの向上・利用促進策

□生産物・冊子等

地域の方々に旬のタケノコ、サンショウ苗、シイタケ等を提供し、冊子類を頒布した。タケノコは不作年だったが、人気は相変わらず。1家族あたりの数を限定して提供した。

□生きものの展示・掲示:

ミシシippアカミガメ、カワリヌマエビ等小エビ類、モツゴ等飼育展示を続け、外来種や在来生

物の案内を行った。園路掲示の「自然クイズ」は子どもやおとなが楽しんでおり、米作り参加者の小学生がアイデアを寄せており、協力作成する予定。また、来園者に生物等について問われた時は、その都度、丁寧に案内を行った。

2 広報・プロモーションの取組

□ホームページ等

自然と歴史の概要を紹介し、催し情報や申込みの出来るサイトである。トップの風景や旬の花を随時更新した。ブログでは催しの様子をできるだけ早く発信した。インスタグラムでは昆虫、花、鳥や風景などを掲載。また、催し参加者だけが終了後に見られるウェブアルバムも好評継続中。

□地域・会員

小学校等に「せいたいえんだより」を年2回配布。会員や協力者に「ニュースター」を隔月で発行し、催し案内や自然情報を発信した。

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

□保全再生事業

小学生含め地域の方々を行っている。安全に楽しく続けるため注意事項のほか、目的や植物案内等の説明を行った。社会福祉協議会の協力により、新規参加者を継続的に得ることができた。社会変化に伴い、ボランティア参加に変化も見られるが、募集と定着への働きかけが大事である。

□地域団体との協力

近隣小学校の観察、クラブ活動で竹伐り、焚き火体験等をお手伝いした。4年生総合学習にて自然や生物紹介等を行った。保育園のお散歩、小学校遠足のほか、七夕笹を保育園や高齢者施設等に提供した。

大学研究支援として①ザリガニとその情報提供、②御手洗池埋土種子研究の為の土壌採取に協力。②は次年度に継続され、研究結果報告が期待される。

近隣おやじの会、自治会、保育園等にもちつき道具、薪を使っていたいただいた。

市民団体「ビーフォレストクラブ」による二ホンミツバチ調査に協力、巣箱5個を園内に設置した。うち2箱に営巣があったが、スズメバチ襲来等によるミツバチ全滅も生じた。今後も注視していく。

4 災害時の緊急対応

緊急の事故、災害時におけるスタッフ対応をテーマに4回研修を行った。また、事故・傷病者対応として「ファーストエイドマニュアル」を作成し、救急バッグに携帯し備えた。

5 安全対策・防犯対策

巡回時、目視と触診によるベンチ、柵等設備の点検、当施設特有の危険＝枯木、枯枝、ハチの巣有無等点検を実施。併せて設備点検及び枯木について定期点検を行った。畦の橋板や園路の沈下(湧水上)、池デッキ柵のがたつきは急ぎ修繕を施した。

作業時は救急セットを携帯し、伐採やチップパー等機械作業においてはヘルメットや防具等を着用し、必ず複数名対応にて実施した。所定基準を順守し、目的達成よりも安全最優先とした。横浜

市からの事故情報はスタッフと共有し、体制を振り返った。

個人情報保護、金品・道具類保管、施設施設錠を方針どおり実施。また、防犯対策で防犯カメラ導入を検討し、詰所入口に1台設置した。正門とトイレ、詰所入口に人感センサーライトを設置した。

6 苦情・要望への対応・不法行為対策について

特段の苦情はなかったが、アンケートで受けた要望について、植物保護方針やスタッフ勤務状況をふまえた対応を行った。「園路周りに草が多い」という指摘は、園路周辺に保護植物が多く生息する現状を、伐採や移植等により変える必要がある。今後の課題である。

犬を連れた入園(禁止の約束を広報・掲示)が4件程あったが、都度、丁寧に約束順守のお願いをした。過去の要望①催し時の煙発生予告、②道路のコーン周辺清掃につき継続実施した。

7 横浜市の重要施策を踏まえた取組・個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

□個人情報保護：スタッフ研修を行い、内規及び横浜市協定内容を遵守。違反は無しであった。

□人権尊重：市主催の研修をオンライン受講した。

□環境配慮：植物調査、昆虫観察、水生生物調査(委託事業)等を踏まえて保全作業を計画、実施した。米作り作業では、谷戸の生物多様性を大切にアリアケスミレ等希少植物の保護を行った。

設備修繕では資材の再利用に努め、伐採竹木使用とストック木材の再利用を心がけた。

□市内中小企業優先発注施策：事業系ゴミ・産廃ゴミ回収、トイレ清掃、草刈り作業を該当企業に発注依頼した。

□新型コロナウイルス感染等の拡大防止：スタッフは適宜にマスク着用と室内換気を実施。報道される感染状況に注意し、催しでは募集人数等を配慮した。

□熱中症対策：7月に作業と催し各1回を猛暑の為に中止した。作業等ではこまめな声かけ、休憩、給水、日陰実施等を心がけ、事故なく行えた。詰所に保冷剤等緊急対応グッズを備えた。

3 維持管理(事業計画書様式4)の報告

1 維持管理

来園者が気持ちよく自然を感じ、安心して利用できる施設をめざし、維持管理を実施。「維持管理水準書」及び「マニュアル」を基に点検を行った。

2 施設(建物等)・設備の維持管理

□日常点検：詰所・正門、トイレ周辺の異状を点検し、適宜清掃を行った。

□定期点検：施設設備の破損や劣化、また自然の枯木枯枝有無等の点検を実施した。(6月、9月)

□施設特有の不具合：枯木枯枝有無の点検、水辺斜面の崩落、園路面の陥没、根の張り出し、ハチや毒毛虫の発生状況に注意し日常点検、定期点検を行った。随時、園路草刈り、落枝除去、園路に張り出す枝類除去等整備を行った。本年度、毒毛虫のイラガ、ハチの巣は観察されなかった。

□樹木・植栽等の管理：「維持管理水準書」及び年間計画及び植物調査の様子を基に草・ササ刈り、低木・竹伐採、希少植物保護を行った。自然再生、安全管理、景観維持の観点をふまえた。内容は「管理運営体制(事業計画書様式2)・自然の再生」のとおり。

(事業報告書様式3)

令和4年度文化・自然体験施設利用状況(園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	576	609	433	318	124	238
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	272	640	253	289	243	500
						4495

*入園者概数及び催し等参加者の合計

(事業報告書様式4)

令和4年度修繕実績(※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕年月日	修繕箇所	金額(単位:円)	委託業者名、直営か
4/5, 9, 6/21	田んぼ畔の穴補修	0	団体スタッフ
4/14	外周柵	0	前年度購入ネジ使用
6/21	アンケート台:塗装	0	〃
6/28	案内板(緑道):塗装	2,178	〃
4/27,28	詰所外オーニング:交換設置	0	前年度購入
9/15, 20	フェンス扉蝶番:蝶番調整	0	〃
9/29, 10/4, 6	カメ水槽土台:木材補充	1,759	〃
10/25~11/2	詰所外チラシ棚:屋根設置	7,716	〃
3/5~29内8日	詰所外展示台:リニューアル	34,523	〃
随時	鎌・鋸刃研ぎ	0	〃
随時	チップパー刃研ぎ	0	〃
1/6,13,	ロープ柵:園路脇	0	〃
1/24,26,31	園路木柵・橋:ネジ締め直し	0	〃
12/27	簡易ポンプ調製、交換設置	0	〃
合計		80,699	

(事業報告書様式5)

令和5年度増減備品一覧(※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入)

品名	形状・その他	単価(円)	購入	廃棄	増減理由
無し					

(事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	2023年 4月	ちょっと草が多い。道のじゃま。(子どもさん意見)	園路脇の草刈りを都度行い、邪魔にならないよう努めた。
2	同上	草花に名札をつけてほしい。	業務分担を行い、開花している目立つ植物につけるように努めた。
3	同上	自然のままがよい。変に囲ったり、人の手を加えたりしないほうがよい。	管理方針のもと、必要な保護囲いは実施するが、景観に配慮した。

事件・事故・災害対応報告

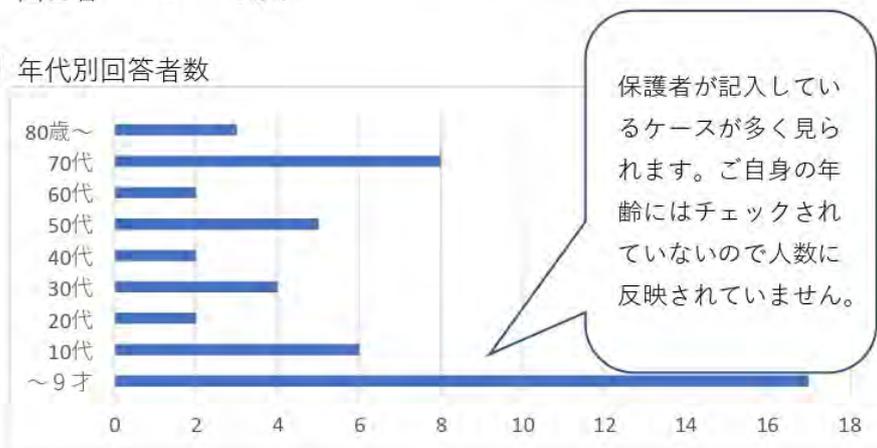
	年月日	内容及び被害	対応結果
1	2024年 2月	スタッフが作業中に躓き転倒、肋骨を骨折した。	傷害保険対応。日常生活に支障なく一月程で全治した。

(事業報告書様式7)

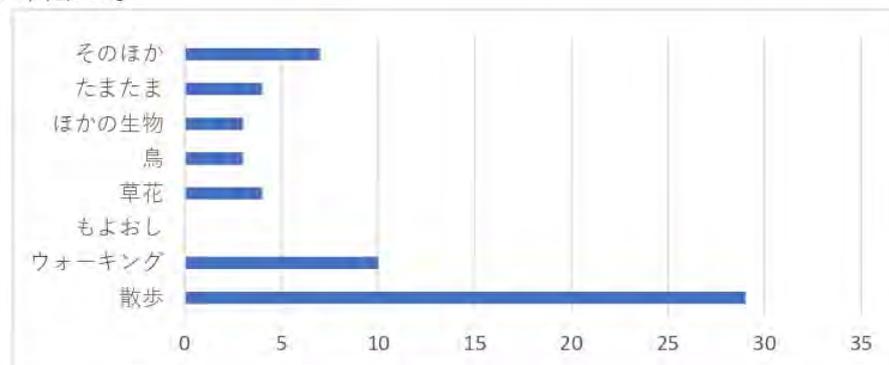
利用者アンケート結果

実施期間 : 令和5年4月1日～令和6年3月31日
 回答者 : 49人

【1】年代別回答者数



【2】来園目的



【3】感想、意見・対応等

- ・ちょっと草が多いかな？
- ・もっと木のしょうかい文を作ってほしい。
- ・はちのすがきになった
- ・レアな鳥がみられる時期や、今のシーズンにどういう鳥が鳴いているのか
- ・変に困ったり、人の手を加えたりしないほうが良いと思う
- ・心が安らぐ
- ・徒歩で来られる自然として癒されます
- ・静かに自然の中に居られるところ
- ・自然がいっぱい、静かで癒される

(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	5/20,10/7,2/1	初任者研修	就業にあたっての心構え、基本的な遵守事項、事務手続きを説明した。新任3名。
2	8/9	事故等緊急対応	催し・作業実施や開園日の事故発生時の緊急体制を再確認した。参加5名
3	9/6	AED講習	アルソックさんを講師に、意義を学び体験した。使用の躊躇軽減を図る目的。参加9名。
4	9/21,10/4,11/8,12/7	植物	専門知識をもつスタッフが、植物の特徴等について他スタッフに伝授した。参加2名
5	11月	人権研修	横浜市提供のオンライン講座を各々視聴。新たな学びを得ることができた。参加5名

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧 (自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
定例保全作業	スギナ抜き、草・ササ刈り、低木刈り、竹きり、伐採竹の処理・移動、シイタケほだぎ作り、ほだぎ置場整備を実施。地域の方々（小学生～おとな）と共に楽しく安全第一に行った。 近年は参加者の世代交代期。社協の協力を得てガールスカウト団はじめ新参加者の定着を図ることができた。	199	4/23,5/28,6/17,25, 7/23,9/24,10/21,29, 11/18,26,12/16,24, 1/20,28,2/17,3/16, 3/24
草刈り	保護植物の知識を共有し、丁寧な草・ササ刈りを実施。フデリンドウの開花増が見られた。参加者	37	4/6,20,5,11,18,6/15, 7/6,9/21,10/5,19,

	増が課題。		11/16,12/7,1/18,2/8
植物調査	植物の生育状況を調査、2013年に調査をまとめた後の再調査として8月と冬季を除き実施した。西山と湿地帯について実施、次年度に継続の予定。	22	4/21,28,5/12,6/9,23,7/14,28,9/22,10/27,11/10,24
ネイチャークラフト	「森の風」(市民団体)による木の実等を使って行う自由工作。	20	6/21,7/19,8/19,10/21,11/18,12/16,2/17,3/16
教育機関学習活動への協力	近隣小学校の観察授業・遠足・総合学習。クラブ活動(竹伐り、焚火)。大学研究活動(ザリガニ活用研究、埋土種子研究)。稲藁・七夕笹提供。	-	4/14,20,5/26,6/8,23,28,11/1,2,29,12/16,1/12,18,2/15,3/7 他
すぼっと観察会	スタッフが進行する観察会で、ザリガニ、エビ、オタマジャクシや草花、水抜きをした池の観察などをおこなった。実施を楽しみにしているリピート参加の方も多く、生態園の自然に親しみを感じていただける機会となった。	70	4/22,5/14 5/28,6/4 9/9,11/5 12/17,3/17
ザリガニパンフレット	アメリカザリガニ啓発パンフレット。近隣小学校3校及び「めざせ!ザリガニマスター」新規参加者に配布した。(約1000部)	-@	5~10月の開園日

有料事業実施報告一覧(自主事業含む) ☆決算額を入れてください

事業名	事業内容・実施結果	参加数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費(円)	自主事業収入(円)
「昔ながらの米作り」	苗床作りから堆肥入れまで計14回実施。お米54kgを収穫した。脱穀作業を所定時間で終わらせるよう、田植え間隔を広くするなどし、収量をコントロールした。畦の防水対策を行ったことで田には常に水が張った状態を維持できたが、水が循環しづらくなったため水温の上昇、藻の発生が多く見られた。稲の成長は例年と変わりなく実の付きも良かったが、環境変化の影響については次年度も要観察することとした。 昨年まで新型コロナウイルス対策で参加人数を減らしていたが、新規の	362	4/16,4/30 5/14,5/20 5/26,5/27 5/28,7/22 9/9,10/7 10/14,11/4 3/2	95,722	235,150

	参加者を2割程度増やすこともでき、参加者同士の交流も促すことができた。				
「野の花ウォッチング」	散策しながら、植物について構造や生態を丁寧に解説。常連さんを含め毎回7～10人程で実施した。	50	4/2,5/7,6/4 7/2,9/25 10/22,11/2 11/7,3/19	52,688	19,300
春のクモを探そう	園内でハエトリグモ、クサグモなどの様々なクモを探して観察。個々の生態を楽しく学べた。	7	4/29	7,514	2,100
両生は虫類の観察会	園内で捕獲したヘビや講師持参の生物を観察。実際に手で触れ、感触を感じながらじっくりと観察をした。貴重な機会となった。	31	5/3	10,398	7,150
貝博士になろう	池に生息するドブガイを野外と室内で観察し、標本を作成した。熱心な参加者も多く活発な雰囲気だった。	8	6/18	8,806	2,500
「めざせ！ザリガニマスター」	園外で捕獲したザリガニ計1,503匹を引取り、参加者にカードを進呈。田の施肥、動物園提供に活用した。	約300	5/1～10/16 の開園日	0	2,400
昆虫探偵団	「みんなで昆虫を探そう」は酷暑の中、熱中症のリスクが高いため中止とした。「セミの抜け殻調査隊」では抜け殻を実際に集めて分類し、標本を作製した。「越冬する昆虫たち」は園内をまわりながら昆虫の様々な越冬状況を観察することができた。ともに参加者の満足度が高かった。	54	7/29 中止 8/26,2/3	18,787	7,100
草木染め	田んぼの畦にはえているコブナグサを刈り取り、かまどで火を起こして湯をわかし、草木染めを行った。大人対象だったが「楽しかった。また是非参加したい」との感想が多かった。	6	10/18	9,189	5,550
たのしい竹工作	竹林で竹を伐り出し、弓矢や竹ぼっくりなどの工作を行った。竹を伐ることも、刃物を使うことも初めてと	14	11/19	9,497	5,600

	いう子も多く、貴重な体験の場となった。				
森となかよしキッズ in 生態園	自然の中で、五感を使った自然遊びや探索、焼き芋などを行った。親子や参加者同士で、楽しみながら季節を感じるプログラムで、毎回楽しみ参加される常連の方も多かった。	67	11/23,1/27 2/7,3/20	22,921	14,500
おとなの焚き火	山で枝を拾い集め、たき火を行った。焼き芋を焼き、カマドで湯を沸かしてお茶を飲みながら参加者の皆さんと語り合った。火を見つめながら自然の中で過ごす時間を満喫していただいた。	5	2/8	4,217	4,000
草だんご作り	ヨモギを摘んで、かまどで茹で、蒸し、広場ベンチにて親子でお団子を作りいただいた。早春の香りと味を楽しんでいただけた。	21	3/30	10,956	13,100
「ようこそ生態園へ」(植物冊子全4冊)	サポーターグループが作成。園内植物約300種を分かりやすく解説した冊子。開園日に展示、頒布した。	25	通年	4,839	22,402
親子自然体験	幼児親子で、焚き火を体験し、楽しんだ。	8	2/7	4,263	3,600
合計		1063		259,797	344,452

(事業報告書様式10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年回数	実施月
トイレ清掃	日常清掃	横浜市南区 (株)斎藤商会	143,550	261	年間(月水金土日曜日)
トイレ開錠・施錠	トイレ施設の開閉 朝9時及び17時	個人	78,000	260	年間(月火ほか)

事業報告書様式 11)

収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	10,791,446		10,791,446	10,791,446	0	
利用料金収入						
自主事業収入	254,500		254,500	344,452	-89,952	催し参加協力金
雑入	303,700		303,700	418,401	-114,701	サポーター会費, 協力寄付金等
その他雑入				72	-72	利息
収入合計 (a)	11,349,646		11,349,646	11,554,371	-204,725	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	8,303,607		8,303,607	7,588,473	715,134	
給与・賃金	7,328,601		7,328,601	7,315,154	13,447	
社会保険料	640,000		640,000	34,613	605,387	労働保険
通勤手当	275,006		275,006	213,430	61,576	
福利厚生費				25,276	-25,276	労災あんしん 保険, 見舞い 等
勤労者福祉共済掛金	60,000		60,000	0	60,000	
退職給付引当金繰入額						
事務費	801,970		801,970	1,272,481	-470,511	
旅費	58,500		58,500	7,864	50,636	市内交通費, 駐車場代
消耗品費	78,487		78,487	65,161	13,326	
会議賄い費	20,000		20,000	9,807	10,193	茶菓類
印刷製本費	61,000		61,000	173,845	-112,845	紙, インク, 版下, 印刷代 等 (広報誌)
通信運搬費	171,900		171,900	157,326	14,574	電話・ネット 使用料, 切手, 運送料
使用料及び賃借料	50,860		50,860	64,500	-13,640	
(横浜市への支払い分)	2,860		2,860		2,860	公園使用料
(その他)	48,000		48,000	64,500	-16,500	給与ソフト使 用料, H P : W i x 使用料, ウィルスバ スター
備品購入費	66,500		66,500	89,609	-23,109	
保険料	68,223		68,223	102,120	-33,897	賠償保険, レクレーショ ン保険
振込手数料	29,780		29,780	18,105	11,675	振込手数料(給 与振込・他)
リース料	78,000		78,000	79,068	-1,068	A E D リース 料
手数料						
その他事務費	118,720		118,720	505,076	-386,356	
自主事業費	251,640		251,640	259,797	-8,157	催し関連: 保険料・消耗 品・講師料 ほか諸費等
管理費	761,220		761,220	1,920,603	-1,159,383	
光熱水費合計	※横浜市負担					
光熱水費 (電気)	※横浜市負担					
光熱水費 (ガス)	※横浜市負担					

茅ヶ崎公園自然体験施設 令和5年度 事業報告書

光熱水費（水道）		※横浜市負担				
光熱水費（下水道）		※横浜市負担				
清掃費	283,280		283,280	311,030	-27,750	内 委託分＝ トイレ諸費 （清掃&鍵開 閉）213,150
修繕費	30,000		30,000	135,209	-105,209	
機械警備費						
公園及び公園施設設備保全費	447,940		447,940	1,474,364	-1,026,424	
施設（建物）・設備保守						
園地管理費	290,000		290,000	532,393	-242,393	（内 445,500 林内草刈り）
その他保全費	157,940		157,940	941,971	-784,031	（内 445,500 林内草刈り）
公租公課	981,040		981,040	490,438	490,602	
公租公課（事業所税）						
公租公課（消費税）	981,040		981,040	490,438	490,602	
その他公租公課						
事務経費（本部分）						
雑費	250,169		250,169	16,744	233,425	
支出合計（b）	11,349,646		11,349,646	11,548,536	-198,800	
差引（a-b）	0		0	5,835	-5,835	

（参考）指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計（c）	51,000		51,000	46,783	4,217	
設置管理許可支出合計（d）	2,860		2,860	0	2,860	
差引（c-d）	48,140		48,140	46,783	1,357	

今年度の収支報告

- * 修繕費は詰所前展示台リニューアルの為、支出が多くなっている。
- * 園地管理費及びその他保全費は、造園会社に草刈り発注費用が増えている。
- * 保険料は値上げ（保険会社による催し毎の下限額設定変更のため）、レクリエーション保険料が大幅に増えている。物品関連も値上げが続き、今後、こうした値上げによる収支計画への影響の増加が懸念される。

(事業報告書様式 12)

指 定 管 理 者 名	NPO法人茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会
公 園 又 は 公 園 施 設 名	茅ヶ崎公園自然体験施設

運営目標・実績報告【自己評価 ◎:特筆すべき取組がある ○:達成している △:改善を要する】

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	指定管理者評価 ◎ ○ △	改善点等 今後の取組
業務運営 1 (事業計画書様式 2 : 運営業務の実施計画・取組)	<p>里山の生物相と自然環境を保全し、地域に親しまれる施設をめざす。取組みとして次を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 自然再生 ・作業24回以上/年</p> <p><input type="checkbox"/> 自然環境教育 ・観察会12回 ・植物観察会7回 ・水辺観察会1回 ・体験7回 ・ザリガニ引取り24回</p> <p><input type="checkbox"/> 米作り ・体験8回</p> <p><input type="checkbox"/> 適切な施設管理 ・施設点検36回以上</p> <p><input type="checkbox"/> 自然の普及啓発と里山文化伝承 ・地域の聞取りを活かす</p>	<p>里山の生物相と自然環境を保全し、地域に親しまれる施設をめざし、以下の取組みを実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 自然再生 作業111回/年</p> <p><input type="checkbox"/> 自然環境教育 観察会12回 植物観察会7回 水辺観察会1回 体験8回 ザリガニマスター24回</p> <p><input type="checkbox"/> 米作り 体験8回</p> <p><input type="checkbox"/> 適切な施設管理 施設点検36回以上</p> <p><input type="checkbox"/> 自然の普及啓発と里山文化伝承 SNS発信 生態園の昔をテーマに観察会1回</p>	◎	・形態や内容を臨機に変更させつつ、当施設の基礎として継続して取り組む。
業務運営 2 (事業計画書様式 2 : 管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<p><input type="checkbox"/> 体制 事務局長1、スタッフ5、支援スタッフ7を配置し、アルバイトを確保する。</p> <p><input type="checkbox"/> 人材確保 作業や催しに楽しく参加できるよう心がけ、スタッフ雇用へつなぐ。</p> <p><input type="checkbox"/> 人材育成 参加者と自然再生について知識を共有する。</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティアの育成 保全作業や米作りでは自律的に動ける形を促す。 ・支援スタッフ打合せ:年3回</p>	<p><input type="checkbox"/> 体制 事務局長を置いた運営体制を模索し、候補者と話し合いを重ねた。スタッフ5、支援スタッフ7が業務を遂行した。途中、支援スタッフ1名増。</p> <p><input type="checkbox"/> 人材確保 作業や催しに楽しく参加できるよう努め、活動に関心ある方の発掘を心がけた。社会福祉協議会にボランティア紹介を依頼し、10回程参加あり、継続参加者も得た。</p> <p><input type="checkbox"/> 人材育成 参加者と自然や植物保護・再生について折々に話をした。スタッフは課題共有・解決の為、事務局会議12回ははじめ、相談や会議を107回行った。</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティアの育成 保全作業や米作りでは参加者が自律的に動けることをめざした。</p>	○	<p>・事務局長候補者と共に体制づくりの準備を進めながら、滞りなく運営遂行できるように情報共有、研修等含め取り組んでいく。</p> <p>・就業規則改定等、体制基盤の整備を行う予定。</p> <p>・ボランティアの育成については引き続き、大事に取り組んでいく。</p>

<p>業務運営 3</p> <p>(事業計画書様式 3 : 利用者サービスの向上・利用促進策)</p>	<p><input type="checkbox"/>生産物・冊子等提供 <input type="checkbox"/>生きもの展示と掲示 ・飼育展示 ・パネル掲示 ・クイズ看板 ・植物名札</p>	<p>自然の恵みを楽しみ、知識も得られるように様々な物を提供した。</p> <p><input type="checkbox"/>生産物・冊子等 笛、山椒苗、竹細工、冊子等を提供、協力金をいただいた。 <input type="checkbox"/>生きもの展示と掲示 ・飼育展示:おたまじゃくし、カメほか生物。 ・パネル掲示:鳥、魚等。 ・クイズ看板:生態園の自然をテーマに、園路柵に設置、適宜更新した。 ・植物名札:開花の頃に設置。</p>	<p>◎</p> <p>・引き続き、地域の方々に親しまれる施設をめざし、様々な自然の恵みを提供していく。 ・クイズ看板は自然への関心をやさしく引き寄せることができ好評だった。更新には催し参加者のこどもの知恵も引き込む予定。</p>
<p>業務運営 4</p> <p>(事業計画書様式 3 : 広報・プロモーションの取組)</p>	<p><input type="checkbox"/>ホームページ ・情報案内 ・ブログやインスタ発信 <input type="checkbox"/>地域・会員 せいたいえんだより2回、ニューズレター6回発行</p>	<p>SNSや広報誌を通し、自然の魅力を発信した。新たにInstagramを開始。</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページ ・催し等の情報案内 ・「今月の植物」12回更新(同時に掲示も) ・ブログ・インスタ96回更新。 <input type="checkbox"/>地域・会員 「せいたいえんだより」2回、ニューズレター6回発行。</p>	<p>◎</p> <p>・引き続き、SNSを利用し、担当者の負担の少ない形での広報を行う。</p>
<p>業務運営 5</p> <p>(事業計画書様式 3 : 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)</p>	<p><input type="checkbox"/>保全再生事業 ・会員、ボランティアと安全に楽しく作業する。 <input type="checkbox"/>地域団体との協力 ・環境教育支援 ・保育園支援 ・近隣への道具貸出 ・大学研究支援</p>	<p><input type="checkbox"/>保全再生事業 会員、ボランティアさんと共に保全に取り組んだ。年間29回</p> <p><input type="checkbox"/>地域団体との協力 ・環境教育支援:小学校総合授業1回、インタビュー4回、高校生ボランティア作業体験1回 ・保育園支援:お散歩入園、七夕笹提供。 ・高齢者施設協力:七夕笹提供2回 ・近隣への道具貸出;もちつき道具貸出し3回 ・大学研究支援:植生研究の為の土壌採取。 ・二ホンミツバチ育成への協力</p>	<p>◎</p> <p>・引き続き、地域の方々と共に保全再生に取り組み、地域施設への生産物や情報提供を行う。</p>
<p>業務運営 6</p> <p>(事業計画書様式 3 : 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)</p>	<p><input type="checkbox"/>個人情報保護 ・研修1回/年 <input type="checkbox"/>人権尊重 ・ハラスメント対策整備 <input type="checkbox"/>環境配慮 ・植生調査14回程度 <input type="checkbox"/>市内中小企業優先発注 <input type="checkbox"/>コロナ対策 <input type="checkbox"/>熱中症対策</p>	<p><input type="checkbox"/>個人情報保護 ・研修1回。 <input type="checkbox"/>人権尊重 ・研修1回。 ・ハラスメント対策規則作成。 <input type="checkbox"/>環境配慮 ・ゴミ分別。設備資材の再利用。 <input type="checkbox"/>市内中小企業優先発注:清掃、事業ゴミ回収、造園業者発注。 <input type="checkbox"/>コロナ対策 イベント時の対策継続(人数制限、室内喚起、飲食等) <input type="checkbox"/>熱中症対策 催し・作業時の対策(日程・時間・休憩配慮、冷却グッズ準備等)</p>	<p>○</p> <p>・公園管理の基礎的規則として引き続き取り組む。</p>

<p>業務運営7</p> <p>(事業計画書様式4:公園の魅力を高める施設保全・管理)</p>	<p>気持ちよく自然を感じ、安心して利用できる施設をめざす。「維持管理水準書」に則った管理を行う</p>	<p>里山景観を維持し、植生豊かな施設をめざし、取り組んだ。</p> <p>□園路整備:危険木点検、落枝除去、枝剪定、路面等確認 □案内設置;生物看板、自然クイズ看板、植物名札設置 □景観に配慮した整備;植物保護、低木間伐等</p>	<p>引き続き、「生態園」の魅力を維持できるように取り組む。</p> <p>◎</p>
<p>業務運営8</p> <p>(事業計画書様式4:施設(建物等)、設備の維持管理、修繕計画)</p>	<p>□日常点検 ・異物等の確認 □定期点検 ・施設の劣化、枯枝等確認 □施設特有の点検 ・園路及び周辺 ・工作物 ・池や水路</p>	<p>日常点検、定期点検を実施し、以下取り組みをすすめた。</p> <p>・木製設備の腐食劣化について公園事務所に相談、改修を依頼した。(谷戸の木製橋ほか) ・東西山の階段で、自然経過による土の浸食・流下あり。土留め等補修を計画。未実施。 ・詰所前、自作の木製展示台等を改修リニューアルした。継続。</p>	<p>・引き続き、安全に安心して利用できる施設であるように点検と管理を行う。 ・木製設備のリニューアルを次年度も行う。 ・山中の階段整備を予定。 ・園路脇のロープ柵リニューアルを予定。</p> <p>◎</p>
<p>業務運営9</p> <p>(事業計画書様式4:樹木、植栽等の管理)</p>	<p>年間計画をもとに、雑木林・竹林・谷戸・水辺の保全管理を行う。 低木・ササ刈り、筍間引き、竹間伐、スギナ取り、草刈り、雑木間伐、枯草刈り、植物保護など。</p>	<p>年間計画をもとに保全管理を行った。</p> <p>□ボランティア・スタッフ作業 雑木林・竹林・谷戸・水辺の保全管理を実施した。111回</p> <p>□ほか作業 ・ササ刈りを造園業者に依頼した。(外園部斜面) ・堆積していた竹間伐材を産廃ゴミとして処分した。</p>	<p>・ボランティア参加者の定着、(特にある程度経験を経たおとなの方)をめざす。 ・ハチ被害や作業事故ゼロを第一に行う。</p> <p>◎</p>
<p>業務運営10</p> <p>(事業計画書様式4:巡視・清掃)</p>	<p>・詰所やトイレ付近の清掃:毎出勤日 ・園路巡視:開園日 ・園路点検:週2回</p>	<p>・危険木伐採を横浜市に依頼、実施された。</p> <p>・安全に利用できる施設を維持する為、以下の点検を継続して行った。</p> <p>□日常点検(随時・開園時) ・設備劣化、異物等確認、落葉等清掃 □定期点検(年2回) ・施設の劣化、樹木枯枝等確認 □施設特有の点検(随時) ・樹木枯枝、ハチの巣、園路盤面、枝の張出し、木製工作物の腐食劣化、 ・水辺浮遊・落下物確認、水位</p>	<p>・必須業務として継続する。</p> <p>○</p>
<p>収支</p> <p>(事業計画書様式7:収入確保、経費節減策)</p>	<p>・準備、経費、協力金負担の軽減の工夫 ・消耗品類の丁寧な使用と物品購入の十分な検討 ・講師謝礼の値上げ</p>	<p>予算計画に従い支出を進めた。伝票、出納帳、経理作業を正しく行い、以下のことを努めた。</p> <p>・準備、経費、協力金負担の軽減の工夫 ・消耗品類の丁寧な使用と物品購入の十分な検討 ・講師謝礼の値上げ実施。</p>	<p>・以下の値上げは、事業運営に影響大である。さらなる工夫は必要だが、厳しい。 菓子類(作業休憩時提供)、食品(食品利用イベント)、消耗品類全般(イベント等)、保険料(イベント)</p> <p>◎</p>